

シリーズ「戦国近江を駆け抜ける」

## 史跡案内 西の湖で結ぶ城下町 安土・八幡

安土は、織田信長が天下布武の拠点として建設した都市です。一方八幡は豊臣秀吉の養子となった甥の秀次が建設した都市で、安土の町を移転したことで知られています。安土から八幡へという都市の変遷は、戦国から近世へとつづく都市の歴史を象徴するものといえるでしょう。

この史跡案内では、安土と八幡の二つの城下町についてのこれまでの調査・研究の成果を現地で説明するとともに、両者をつなぐ琵琶湖最大の内湖である西の湖の景観を船の上から体感していただきます。

1. 日時 平成22年(2010年)5月22日(土)10時~16時

JR安土駅裏広場集合 白雲橋(八幡堀)解散

2. 行程 JR安土駅 浄厳院 景清道 東南寺 惣構どて推定地 北川湧水 常楽寺港跡 木村城跡 西の湖・近江八幡の水郷 西の湖園地 長命寺街道 ヴォーリス記念病院 興隆寺 八幡堀・伝建地区 白雲橋 全行程約10km

3. 主催 滋賀県教育委員会事務局文化財保護課

4. 協力(予定) 近江八幡市・近江八幡市教育委員会・安土町商会・安土町観光協会・近江八幡市観光物産協会・安土まちづくり研究会・安土西の湖観光

5. 参加費 1800円(乗船料・拝観料・保険料) ただし小学生は1000円、小学生未満は無料

6. 主な見学場所

(1) 浄厳院~織田信長が城下に建てた寺院、安土宗論の舞台として有名です。普段は非公開ですが、この史跡案内のための特別公開です。

(2) 常楽寺港跡~中世から荘園年貢の積み出し港です。今も船入の痕跡が現地に残ります。

(3) 西の湖~安土山と八幡山との間に広がる内湖で、現存する琵琶湖最大の内湖です。平成18年1月、「近江八幡の水郷」として全国で初めて重要文化的景観に選定されました。

(4) 八幡伝統的建造物群保存地区~豊臣秀次が築いた八幡の町並みを現在に伝える地区です。商家や町屋などの古い家並みが残されています。

7. 参加方法

(1) 往復葉書またはメール・FAXに住所・氏名・連絡先をお書きの上、下記までお申し込みください。

(2) 1枚の葉書・メール・FAXでの応募は、最大2名までとさせていただきます。

(3) 申し込み多数の場合、先着40名様までの参加とさせていただきます。結果については返信葉書・メール・FAXでお知らせします。

(4) 当日は弁当、水筒をご持参ください。途中で購入する場所はありません。なお弁当の斡旋をいたしません(1000円)ので、御希望の方は、参加申込の葉書・メール・FAXに、弁当希望の旨と個数をお書きください。お支払いは当日、弁当と引き換えにお願いします。

(5) 参加される方はできるだけ公共交通機関をご利用ください。

(6) 雨天決行 ただし天候によって乗船出来ない場合、行程を変更することがあります。

7. 問い合わせ・参加申込

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課城郭調査事務所

〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦6678

TEL 0748-46-6144 FAX 0748-46-6145

E-mail: ma16@pref.shiga.lg.jp